

鎌倉交響楽団
創立30周年記念
第60回定期演奏会



神奈川芸術祭交響楽フェスティバル参加

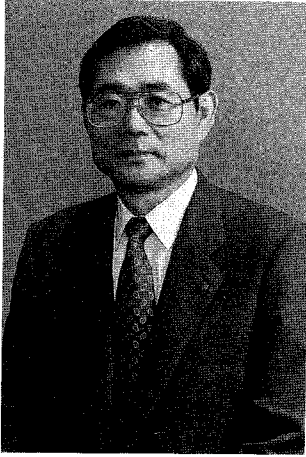
かまくら文化祭参加

'92 11月29日(日) 2:00p.m.

鎌倉市中央公民館分館

祝 辞

鎌倉市長 中西 功



鎌倉交響楽団が創立30周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

貴楽団のこれまでの歩みは、音楽愛好者による趣味活動という領域にとどまらず、60回を数える定期演奏会によって、市民が身近にオーケストラに接する機会を提供するなど、鎌倉市における市民文化の高揚に大きく貢献するものでした。ここに、団員の皆様の熱意と努力に深く敬意を表します。

さて、皆様待望の鎌倉芸術館が、いよいよ来年の10月にオープンします。この定期演奏会をはじめとする鎌倉市民文化祭も、来年は開館記念事業の一環として開催する予定です。鎌倉芸術館において、皆様の手により新たな感動のステージが開幕されることを期待しております。そして、ここを拠点に、市民の皆様の芸術文化活動がさらに活発となり、鎌倉の新しい地域文化が創造されることを心から願っております。

この記念演奏会を契機に、鎌倉交響楽団のますますのご発展を祈念して、お祝いのことばといたします。

祝 辞

鎌倉市教育委員会教育長 米倉 雄二郎

このたび、鎌倉交響楽団が創立30周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。文化都市鎌倉を支える地道な活動を30年もの長きに亘って続けてこられ、市民の文化向上にも多大な貢献をしてこられたことに対し、深く敬意と感謝の意を表します。

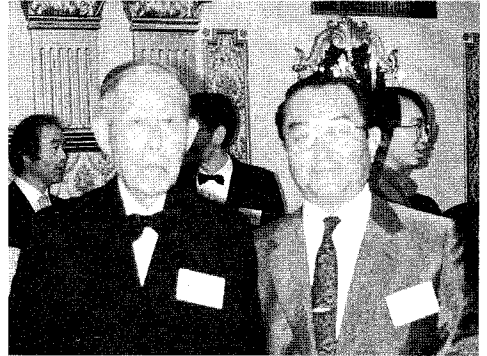
また、教育委員会では、市民の皆様に生の交響楽を楽しんでいただくために、毎年夏休みに巡回演奏会を開催しておりますが、鎌倉交響楽団の皆様のご理解あるご協力をいただき、その目的を達成することができ、心から感謝申し上げます。

生涯学習時代の到来を機に、鎌倉交響楽団の益々のご精進とご発展をお祈りし、あわせて、今後とも、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。祝辞といたします。

ごあいさつ 団長 伊澤龍作

今日は鎌倉交響楽団の創立30周年記念演奏会にお出でいただき誠に有難うございます。昭和38年3月発足以来幾多の運営上の困難もありましたが、市当局の楽器購入、練習場の確保の御援助を賜はり、今日を迎えることが出来ました。今後も古谷、宮松両先生の御指導と団員の結束により、音楽を通して音楽の喜びを共に分かち合い、それがひいては私等の住む鎌倉の文化向上に役立てれば幸いと思えます。

つきましては、引き続き倍旧の力強い御支援下さるよう御願い申し上げます。



松野運営委員長（右）と（創立25周年パーティーで）

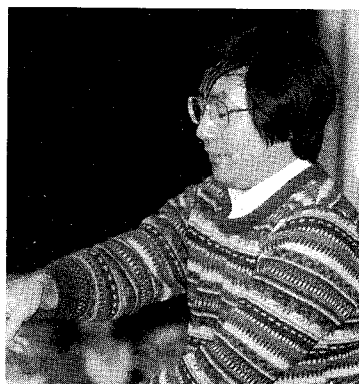


プロフィール

古谷誠一(常任指揮者) ▶

東京大学文学部卒。卒業後、桐朋学園音大で指揮を小沢征爾、秋山和慶、岡部守弘、堤俊作各氏(作曲・ピアノを故・矢代秋雄、三善晃各氏)に師事。

二期会中・四国支部「魔笛」公演を指揮してデビュー。日本バレエ協会との公演、F・アーヨ氏との協演、オペラなど幅広く活動の場を広げている。現在、名古屋芸術大学助教授。名古屋シティフィル常任指揮者。



◀津田真理(ピアノ独奏)

雙葉学園から桐朋学園「子供のための音楽教室」に学び、桐朋女子高校をへて、桐朋学園大学に進む。桐朋学園大学1年在学中にオーストリア政府の奨学金を受け、ザルツブルグのモーツァルテウム音楽院に留学、ハンス・ライグラフに師事。在学中の1983年に第34回ヴィオッティ国際コンクールで第1位特賞を獲得。その後、ウィエラ、ミラノ、トリノ、その他イタリア各地で連続リサイタルを行う。

1986年ボルドー音楽祭にて金メダル受賞。ケルン、ミュンヘンでリサイタル。同年モーツァルテウム音楽院を最優秀で卒業。

1987年パリに移転。エコール・ノルマルにてG、ムニエに師事。

1990年4月、ウィーン・カンマーフィル、11月ポーランド室内管弦楽団の来日公演のソリストとして、全国各地でモーツァルトの協奏曲を協演、好評を得た。

1991年にはショパン協会主催のリサイタル、同年10月、サントリールホールにて弦楽四重奏団とともにモーツァルトのピアノ協奏曲を演奏、ユニークな試みとして高い評価を得る。このコンサートのライブ録音がCDとなる。またベルリン弦楽四重奏団の来日公演に協演するなど、今後の活躍が大いに期待されている。

創立30周年記念
鎌倉交響楽団第60回定期演奏会

指揮／古谷 誠一
ピアノ独奏／津田 真理

メンデルスゾーン 「フィンガルの洞窟」序曲

ラフマニノフ ピアノ協奏曲第2番ハ短調 作品18

I Moderato

II Adagio sostenuto

III Allegro scherzando

————— 〈休憩〉 —————

ブラームス 交響曲第1番ハ短調 作品68

I Un poco sostenuto—Allegro

II Andante sostenuto

III Un poco Allegretto e grazioso

IV Adagio—Allegro non troppo, ma con brio

[後援] 鎌倉市

今日 の 演 奏

メンデルスゾーン「フィンガルの洞窟」序曲 Op.26

この曲はメンデルスゾーン（1809～1847）が演奏会用に作曲した序曲です。彼は音楽活動のために1829年の4月からイギリスに滞在し、この年の夏スコットランドの西方海上に点在するヘブリデス諸島に船旅をしてその途中柱状節理の美しいこのフィンガルの洞窟に立ち寄り、その風景に心を打たれこの曲の曲想を得、これを作曲番号26とし手紙に書き記しました。記録によるとこの曲の全曲の作曲は1830年末ローマで行われ1832年5月4日にロンドンで初演されています。

この曲の冒頭の数小節を聴いただけでフィンガルの洞窟の情景がイメージとしてすぐに頭の中に浮かんできます。吹き渡る風、船の揺れ、白波を立てて岩に打ち当たる大波等々、それぞれの人が持っているイメージでこの船旅の気分を味わうことが出来るのです。そこには船の音や海鳥の声のような擬音めいた手法は一切なく、すべてを音楽として表現されていて、ワーグナーがこの曲を聴いて彼の事を「第一級の風景画家」と評したことも十分にうなずけます。

ラフマニノフ ピアノ協奏曲第2番ハ短調 Op.18

クラシックの曲の中には映画音楽に用いられたり編曲されてポピュラー音楽に変身する曲がありますが、このラフマニノフ（1873～1943）のピアノ協奏曲第2番はその代表的なものです。特に第2楽章、第3楽章の一部は、たとえ曲名や作曲者は知らなくてもメロディーはご存知の方が多いのではないのでしょうか。そう言う私も、若き頃アメリカ映画「ラブソディ」を観て、若きエリザベス・テイラーの美しさとこの中で奏でられたこの曲の魅力的なメロディーとラフマニノフの名前を心に刻んだ一人でした。

本日演奏されるこの曲は1901年10月27日モスクワで作曲家自身のピアノで初演されました。曲は次のような三つの楽章で出来ています。

第1楽章 モデラート

冒頭から独奏ピアノが鐘の音を表すと言われる重い和音を奏した後、オーケストラでハ短調の第1主題が提示されます。この主題はロシア的な臭いを感じるのですが、作曲者の巧みな作曲手腕により徒らに民族色を誇張するようなことは抑えられており、二つの主題が絡み合っ骨組みのしっかりした音楽を形造って行きます。

第2楽章 アダージョ・ソステヌート

短い序奏の後独奏ピアノのアルペジオ風の伴奏に乗ってこの楽章の主題がフルートの導入部に続いてクラリネットで奏されます。途中3/2拍子の部分も交えて、この主題は全くラフマニノフの長を十分に表す美しいメロディーです。楽章全体は三部形式となっており中間部の展開も実に見事ですが、演奏が終わると、やはり始めと終わりに奏されるこの主題の余韻があたりに漂います。

第3楽章 アレグロ・スケルツァンド

かなり自由に書かれたロンド・ソナタ形式のフィナーレです。短いマーチ風の序奏の後にスケルツォ風の活気に満ちた第1の主題が提示されます。この主題はこの楽章の骨組みを形造るものでこの楽章の随所に現れてきます。次にモデラートで提示される第2の主題は、歌謡風のちょっとニヒルな感じのする美しいメロディーで、この主題が映画やポピュラー音楽で紹介され有名になった部分です。この二つの主題を巧みに使って楽章を盛り上げ、最後のコーダは第2の主題を中心としたハ長調で、オーケストラと独奏ピアノ全員で壮大に曲を終わります。

曲 目 御 紹 介

蛇足

第2楽章冒頭でピアノのアルペジオの部分、音楽を聴いていると音符4つずつの3拍子に聞こえるのですが、何故か指揮者は4拍子で振っている。そーなんです、我々の楽譜ではこの3拍子に聞こえる箇所をわざわざ音符3つずつの4拍子で書いてあるのです。こんな所でも苦勞しているのですよ——

ブラームス 交響曲第1番ハ短調 Op.68

ブラームス（1833～1897）が交響曲の作曲を思い立ったのは初めてシューマンに会った翌年の1854年と言われています。1862年には第1楽章のスケッチが出来ていたのですが全体の仕上げは1874年から取りかかり1876年に初演されました。当時の大指揮者ハンス・フォン・ビューローがこの曲を「ベートーヴェンの9曲に続く第10交響曲」と言ったことでも有名ですが、そう言われるのにふさわしい内容の充実したしっかりした構成のシンフォニーです。曲は次に述べるような四つの楽章で出来ています。

第1楽章 ウン・ポコ・ソステヌート——アレグロ

序奏部はゆっくりした6/8拍子、ティムパニーによる低いC音の連打に乗った下降音階でこの曲は始まります。この部分は人間の持っている感情が一気にほとぼり出た感じがします。やがて主部に入りやや早めの6/8拍子となりますが、この拍子は3拍子と2拍子の性格を具えており、これに半音進行を織り交ぜて、いかにもブラームスらしい時には悲しく、時には優しく、また時には荒々しい音楽を繰り広げ最後はまた始めに似た低いC音の持続する中に曲を終わります。

第2楽章 アンダンテ・ソステヌート

この楽章は3/4拍子で、先ず弦楽器により「祈りの歌」がホ長調で奏され、これに続いてオーボエによる別の主題がロ長調で提示されます。中間の部分はオーボエが奏する16分音符の連続したモチーフを中心に進行し、やがて「祈りの歌」が全楽器で奏された後、冒頭部のオーボエの主題が独奏バイオリンとホルンによって奏でられます。この主題はすぐにホ長調に戻り、曲は敬けんな気分満ちた中に清らかな叙情味を漂わせて静かに終わります。

第3楽章 ウン・ポコ・アレグレット・エ・グラジオーソ

通常第3楽章はスケルツォ等で書かれるのですがこの曲では中間部に6/8拍子を挟んだ2/4拍子で出来ています。曲の内容も優美で控え目で、もしかすると次に続く第4楽章の効果を引き立たせる狙いがあるのかも知れません。

第4楽章 アダージョ——アレグロ・ノン・トロポ・マ・コン・ブリオ

序奏部は圧巻です。オーケストラの全奏に続く弦のピッチカート部分は、これから何かが始まると言う期待と不安の入り交じった気持ちをよく表しています。この後ホルンで奏されフルートに受け継がれる牧歌的なテーマは、次に奏されるトロンボーンによる敬けんなコラールを織り交ぜて人間の願いと言うようなものを凝縮させて次に続く主部へとつないでいきます。主部に入るとまず弦楽器により第2主題が奏されます。この主題は第九の「歓喜の歌」を思わせる力強く希望に満ちたもので、音楽はこの主題を軸にして見事な高揚を見せ、そのままの気分で短い導入部を経てピウ・アレグロ2/2拍子のコーダに入り、力強いハ長調の全奏で曲を終わります。

鎌倉交響楽団の生い立ちから今日まで

前運営委員長 山本賢二

鎌響は昭和38年の創立以来、あまたの困難を乗り越えて本日30周年の第60回定期公演会を開催する運びとなったが、今日の鎌響はいわば第2世であり、そのルーツは、終戦直後に数年間の光彩を放った第1世の鎌倉交響楽団に遡ることができる。すなわち昭和20年の暮、未だ終戦の混乱の収まらぬ中、史都鎌倉をこれからの音楽のメッカにしようとの情熱に燃えた音楽関係者により鎌倉音楽クラブ（代表者野村光一）が結成され、この呼び掛けにより疎開中のプロ、アマの演奏家が参集、鎌倉交響楽団が誕生した。

第1回の演奏会は昭和22年10月5日、当時の師範学校（現横浜国大附属小中）講堂でおこなわれ指揮は橋本国彦、コンサートマスターは中島田鶴子、曲目は未完成、モーツァルトのフルート協奏曲（フルート森正）、青きドナウ等であったと記録にある。

年4回の定期演奏会を目標に、市から年額5万円の補助金を得て運営されていたが、世情が落ち着くにつれて音楽家の活動の中心も自然東京に移り、26年3月解散の止むなきに至った。この間の主なメンバーは、上記のほか故尾高尚忠、故前田幸市郎、故斎藤秀雄、故橋常定、故鈴木聡、岩船雅一、江藤俊哉（当時16歳）、平井哲三郎等の諸氏であった。次いで、昭和34年、朝日新聞社が主催して青少年を対象とした「朝日ジュニアオーケストラ鎌倉教室」が誕生し、故東清蔵氏（旧海軍軍楽隊長）の指導の下に、ハリス幼稚園、御成小学校における週1回の練習、春秋2回の演奏会を行っていたが、これも新聞社の方針により38年1月に幕を閉じることとなった。

これを受けて昭和38年春、純然たる市民のアマチュア管弦楽団として結成されたのが現在の鎌倉交響楽団であり、設立の発起人には故野村光一、故福井孝一、故服部甚蔵、鉄能子、山岡寿美子氏等が名を連ねている。設立趣意書には、「文化都市としての本市にふさわしい高度の楽団を結成して・・・」と第1世鎌響の精神が引き継がれている。

38年6月15日、中央公民館（現分館）において第1回結成記念演奏会を開催したが、当時の構成メンバーは朝日ジュニアから10数名、第1世鎌響から5名、鎌倉音楽クラブメンバーの弟子達、大学オケOB、その他音楽を愛好する市民等であり、メンバーの年齢層の幅が極めて広いという、現在の鎌響の特徴は設立当時からのものであった。

以来、鎌倉市当局の有形・無形のご支援を得て30年を経過し今日に至るわけであるが、その間の主な活動記録は、別掲の「あゆみ」に記す通りである。

演奏面では東清蔵、前田幸市郎、高橋誠也、吉水洋、古谷誠一等の諸先生、運営面では福井孝一、伊澤龍作、服部甚蔵氏等それぞれ鎌響を維持発展させるために献身的なご尽力をいただき、改めて深く感謝する次第である。特に東清蔵、前田幸市郎、福井孝一、服部甚蔵の諸先輩は、既に鬼籍に入っておられるが、創立30周年を迎えるにあたり、心よりご冥福を祈りたい。

創立当時の課題は、まず、特殊楽器及び楽譜の調達と練習場の確保というオーケストラの活動に最低限必要なインフラの整備であった。鎌倉市の全面的なご支援のもと、前者については前身オケからの遺産、団員からの提供等も加え、練習場については第

一小学校、御成小学校の音楽室を使わせていただいて、スタートすることができた。特に御成小学校については、30周年を迎える現在もお協力いただいております、厚く御礼を申し上げます。

当時としては比較的恵まれた状況の中でスタートした市民オーケではあったが、間もなく訪れた発展を阻む厚い壁は、名簿上だけの幽霊団員の増加と練習への出席率の低下であった。知己や後輩に呼び掛けて団員を募ったものの日常活動への集まりが悪く、10名に満たないメンバーでベートーベンのシンフォニーを練習するといったことがしばしばで、当然、技術的にも観客の動員においても満足のいく演奏会にならず、それがまた活動の低下と、財政上の不安定に繋がるといった悪循環を繰り返す毎年であった。

しかしながら、指導者の熱意と地道な運営努力、それから2度にわたるオイルショックを経て仕事一辺倒の生活を反省し、文化的な余暇を希求しつつあった社会の風潮も影響してか、昭和50年頃より徐々に熱心なメンバーの入団が増加する兆しが見え、観客層にも広がりが生じ始めた。

昭和56年1月には、それまでの春秋2回の定期演奏会に加え、第1回のニューイヤーコンサートを実施、昭和57年の創立20周年記念第40回定期演奏会には、待望のベートーベンの第9交響曲と委嘱作品「鎌倉の思い出」(古谷誠一作曲)を演奏するに至る。「第9」のコーラスは、この時に誕生した鎌倉市混声合唱教室にお願いしたが、メンバーの中には30年以上前、第1世の鎌響が「第9」を演奏した時、同じ前田先生の合唱指導で舞台上に立った女性がおられ、歴史の流れに感銘を受けたものである。

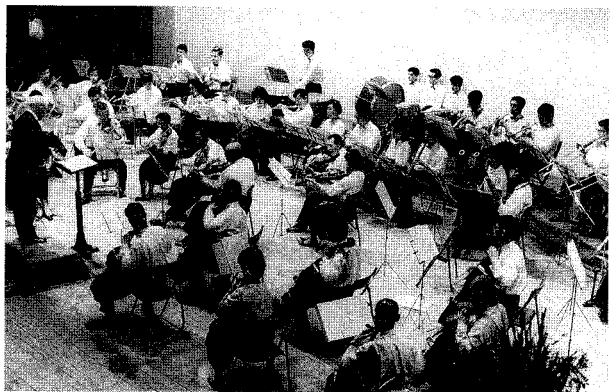
その後、楽団規約を全面改正して、運営委員会と技術委員会を2本柱とする現在の民主的な運営体制を確立したのが昭和59年であり、この頃から実働団員が常時80名を越え、演奏曲目もブルックナー、マーラー、シベリウスの交響曲といった後期ロマン派～近代の大曲にも挑戦する等、一応アマチュアオーケストラとしての形が整ってきた。また、年間2回の小人数による室内楽を中心とした団内演奏会(現在は公開)の開催、春秋の合宿練習、忘年会等、技術とメンタル両面のアンサンブルの向上に心がけ団内結婚も既に20組近くに達している。

ここまで成長した鎌倉交響楽団であるが、現在の最大の悩みは、常時演奏会に使用できる音響の良いコンサートホールと楽器の保管庫を備えた練習場が未だ確保できないことである。

本日のこの音響上あまりに貧弱な公民館分館に耐えて「団員一同、100人編成の第9により、新しいホールのこけら落としを行なうことを目標に」(創立15周年記念演奏会プログラムより)これまで頑張ってきた。新しい鎌倉芸術館が、鎌響のようなアマチュアの文化団体にとっても創造の場として常に機能するよう、本当の市民のための文化活動の拠点として真価を発揮するよう、切に願う次第である。

亡き野村光一氏は、常に「プロであれアマであれ、あらゆる演奏組織中で交響楽団ほど維持していくのに最難なものはない」と鎌響を励ましてくださった。この鎌倉交響楽団が、史都鎌倉の市民による管弦楽団として今後も活動が続けられるよう、コンサートホールと練習場の確保について本日ご来場の諸兄の格別のご支援をお願い申し上げます。

目で見る鎌響の30年



63. 6. 15 (S. 38) 結成記念演奏会 (東清蔵指揮)



64. 5. 23 第3回定期演奏会 (前田幸市郎指揮)



65. 11. 28 第6回定期演奏会



73年11月



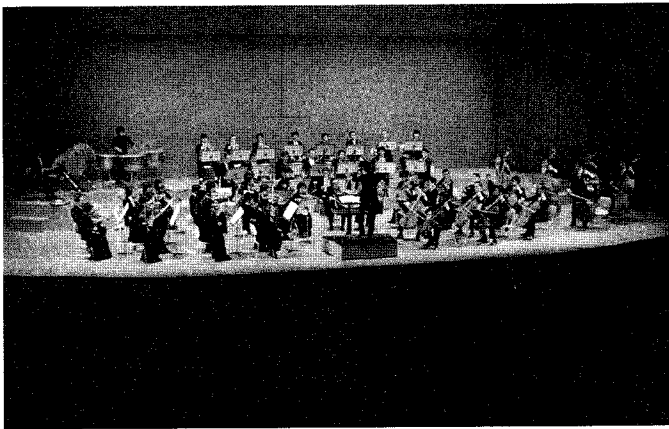
65. 5. 9 (創立当時のメンバー)



75年 御成小音楽室練習風景



75. 4. 26~28 朝霧高原第3回合宿



80. 11. 9 七市交響楽団フェスティバル (古谷誠一指揮)



81. 1. 24 第1回ニューイヤーコンサート (古谷誠一指揮)



インスタント・コンダクター



82. 11. 27・28 創立20周年記念演奏会
ベートーベン交響曲第9番 (前田幸市郎指揮)



81. 12. 17 第1回室内楽演奏会



録響Tシャツ第1号



85. 11. 10 第46回定期演奏会



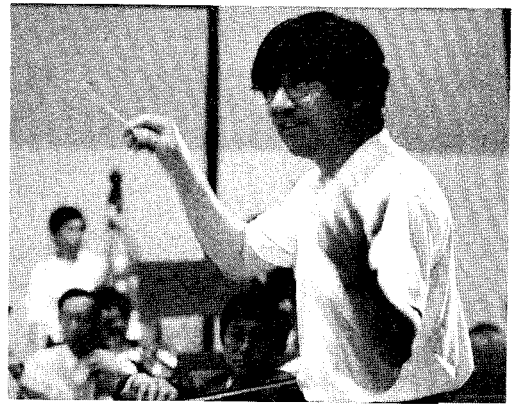
87. 10. 25 創立25周年記念演奏会
モーツァルトFlとHpのための協奏曲 (前田幸市郎指揮)



87. 10. 25 祝賀パーティー
(右が長く常任指揮者を務められた前田幸市郎先生)



88. 9. 13 JR 東京エキコンに出演 (古谷誠一指揮)



89. 5. 20 第53回定期演奏会のリハーサルで (現常任指揮者古谷誠一先生)



89. 10. 29 第54回定期演奏会 (故前田幸市郎先生を追悼して「英雄」第2楽章を演奏)

最近の室内楽演奏会



91. 2. 16

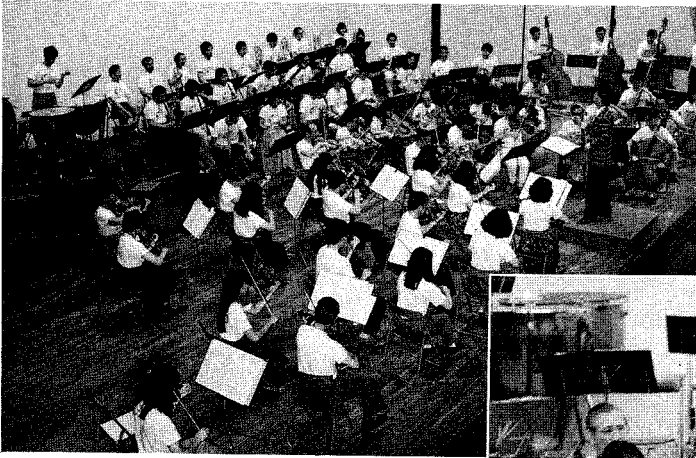


91. 2. 16 団内室内楽は年々発展して公開の室内楽演奏会に

89. 2. 12



毎年生まれる団内カップルは既に10数組



92. 5. 31 第23回幼稚園協会依頼演奏会(中村究指揮)



92. 5. 10 第59回定期演奏会
(チャイコフスキー Vn 協奏曲 独奏天満敦子)



92. 9. 27 弦楽器の分奏練習(指揮者宮松重紀先生)



92. 10. 17~18 城が島での合宿

これが鎌響のわたしたちです

1st Violin

鎌響のバイオリンパートには約35名のメンバーがいます。最前列に座っている4人を除けば、年に1度第1と第2バイオリンの受け持ちを交代しながら演奏しています。

いつも一番前に座っている松野さんはコンサートミストレスになってはや8年。そのすばらしい技術と人柄で団員の信頼は絶大です。今日のブラームスのソロにご期待下さい。その横の高橋さんはパートのリーダーとしてパートをまとめています。その他のメンバーは曖昧な音程とリズム、テンポ感を持ったファジーな集団でこの2人に率いられています。年齢、職業など様々ですが、音楽することが大変好きな人が集まっています（練習の後の麦酒がもっと好きという人もいるかもしれません）。複数の演奏者が同じ楽譜を見て演奏する時、パート全員の気持ちが揃って始めて音楽が作れます。この1～2年で若手が多数入団して、ますます元気なパートになってきました。技術は素人でも気持ちを揃えて演奏出きるように、練習を重ねています。（前中記）

2nd Violin

鎌響のバイオリンセクションは、コンマス及び2、3人の例外を除いて、1年ごとにファースト、セカンドのローテーションがある。自分の好きな曲、やりたい曲にファーストが当たると嬉しくなるが、ウィンナワルツにセカンドが当たるとちょっとがっかりするのは誰もが同じだと思う。しかし、練習中に指揮者が、セカンドパートだけを弾かせたときなど、ファーストよりも息の合った演奏ができると思わず心の中でほほえんでしまい、オーケストラの中の一つの役割を立派に果していることを自覚し、意を強くして、また一生懸命練習に励むことになる。メロディのオクターブ下の箇所でも、常にファーストの音を聴きながら、正確に音程とリズムを合わせる。だいたい指のポジションが低いところが多いだけに、はずしたらみっともないという意識をもって、全神経を集中して弾き、うまくできたときの満足感は、セカンドバイオリンセクションならではのものである。（西村記）



Viola

ヴィオラ (Viola, 以下 Va と略す) はヴァイオリン (Vn) より一回り大きい弦楽器で、オーケストラでは舞台に向かって右側最前列 (又はそのすぐ奥) に配置されています。音域は高くなく、低くなく、その音色は柔らかで温かです。オーケストラでは内声 (ないせい) 部を主に受け持つため普段は余り目立ちません。但し、本日のプログラムでは、ラフマニノフのピアノ協奏曲の第3楽章で大変有名なメロディを演奏しますのでお聴き逃しのないように。さて、鎌響の Va 奏者たちのご紹介ですが、メンバー中10人にアンケートをしてみました。(問1) なぜ Va をえらんだか (答) ①学校のオケで Va がいなかったため又は入る時にすすめられて-6人 ②音色或いは役割が好きで-3人 ③自分の性格にあっていると思って-1人。(問2) 初めて習った楽器は? (答) ピアノ4人, Vn4人, Va1人, 他1人。つまり、「子供のころから Vn またはピアノを習っていたが、学校のオーケストラに入る時に Va を始めた」というのが平均像でした。美人と紳士揃いの仲好しパートです。 (畠中記)



Cello



—チェロパートの席取り合戦—

Viola や1st Violin はちゃんと席が決まっているが、チェロは比較的自由である。だから練習前にガタガタ・ウロウロ、と自分の居心地の良い場所を探す。

パートリーダーのIさんはもちろんトップ。その他席を取り合うのだが暗黙の了解というものがある。席のトップサイドは鎌響の名司会者Uさん。Uさんがお休みの場合はトップの指名制度というルールがある。さて、唯一学生のS君は、練習30分さわやかに登場。準備をすませて2プルト目に着席。同姓のSさんも2プルト目に座る。が、問題は3プルト目の指揮者の目の前の席である。女の子3人組がキャピキャピと楽器を出しているとおじ様達が4プルト目を占領。出遅れた!と慌てるがもう遅い。とまあ、団内一謙虚なパート。でも本番はこの謙虚なパートに秘められた音楽への熱い思いを感じてくださると幸いです。 (藤尾記)

Bass

弦楽器最大の楽器です。中国語で妖怪提琴（ウソ、ホント?）。楽器に似るのでしょうか、大体あまり繊細な性格の人は少なくて、おおらかな人間が多い様です。

職業はどういう訳かエレクトロニクス関係と建築関係が多い。山本、中村両氏はNTT、矢野はNECから(株)トーキンに出向。大内氏は合板会社、広瀬氏はサッシ会社。唯一人変わり種はサカタのタネの梅沢氏。その他今回出られない人でも江口氏は日立、真貝氏はリコー、畠山氏は一級建築士で建築設計事務所を自営。現在練習中の八木氏はIBM。他にはキリンビールが2人いて北川氏、菅原氏、紅一点の山田さんは東京税関

近皆で持っている楽器のレベルが大変高くなりました。特に下の方の音が良く出るかどうかは、技量もさることながら楽器で決まる部分大きいようです。良い音をお聞きいただける様頑張っけてゆきます。

(矢野記)



Flute



2人のお母さんと3人のお父さんからなる熟年グループ。

お母さんお2人は、独身時代からのメンバーなるも、団内に人ありとて休団しばし、子育てを終えての復帰あり、ふくらむ度に入入り3回にしてやっと落ち着くものもあり。

お父さん3人は、あくが強く出たがり屋の最年長と、比較のおとなしい(?)技術屋さんが2人。いずれの5人も熱心さでは人後に落ちず。

大人のパートの団結強く、一旦決めた役割への責任は絶対なもの、どこかのパートのような無断欠席などありえない。技術力は、ドングリだけど誰が吹いても遜色無しが自慢のひとつ。パート内の専門職化を目指して笛吹人生を今日もおう歌する。(吉田記)

Oboe



オーケストラの練習はチューニングから始まります。コンサートマスターが立ち上がると、オーボエがAの音（ラです）を吹き、この音を基準としてオーケストラ全体の音程をつくるのです。このチューニングにも各オーボエ吹きの個性が出ます。音大生の青野嬢は頭の中に正確な音程がたたき込まれているため、他の音とのバランスをとりながらそっと吹きます。パートリーダーの小林は自信がないため、チューナーという機械なしでは音が出ません。オーボエ歴2年の古賀氏は、私に合わせなさいとばかりに堂々と吹きます。（他の場合はともかく、不思議なことにこの瞬間の彼の音程は正確である。）大阪に転勤のため休団中の山本氏は、おらかな性格そのままに「ちょっと低いかな」などと言って笑って済ませます。入団間もない内は「みんなうまいなあ」と言いつつも、実は経験豊富で遠慮しているだけです。これでも私たちは合奏するのだから不思議なものです。（小林記）

Clarinet

クラリネット4人のプロフィール

若い順からブラームスでトップを吹く川下さん。新婚ほやほやで人生一番楽しい時。

国立のクラリネット科卒のプロ。腕は達者だし、高音も低音もつややかな音色は流石。

次はラフマニノフの一番クラの内田さん。大学院で心理学を専攻し、現在は某官庁のお役人。長時間通勤を厭わず鎌響の近くに引越して来た。学生オケで鍛えた腕は今盛り。2楽章のソロを聞いて下さい。新婚？年目。

金子さんは目立たないが極めて努力家で、難しそうな曲でもなんとかこなしてしまう。最近2本のクラをヤマハ製に買いかえた。「NF回路設計ブロック」という難しい名前の子会社のサラリーマン。

最後はフィンガルを吹いている伊澤さん。クラ歴35年。その割に上手くないなんて言わないこと。東急車輛と云う会社で電車を売っている。クラの他に16世紀教会音楽の勉強に熱心。（伊澤記）



Fagott (Bassoon)



ファゴットってどんな音がしましたっけ？。そう、皆さんが一番耳にしているのは、決してチャイコフスキーやベートーベンではなくて、テレビアニメとかホームドラマの場面によく流れている、あのモコモコとした音色でしょう。

この楽器の奏でる音楽は、ほとんど愉快なものになります。オーボエの歌う悲しいメロディーも、ファゴットで吹くとトボけた節になります。いっそのこと楽器の形も、蓮根みたいにあちこちくびれていたりしたら似合うのに…なんて思いませんか？

それほど愉快な楽器を抱えた、我がパートの現メンバーはご覧の通り。風貌にもちょっと特徴があります。でも演奏する時には結構神経を使うので、みんなシカメツラになりがち。そうだ、今度からは目を大きくあけて、へらへら笑いながら吹いて見せようかな。

(西谷記)

Horn

ホルン、コルニ、角笛、でんでん虫(?)等々、いろいろな呼び方のある楽器ですが、鎌響のホルンセクションにはもう一つの顔があります。その名も「アンサンプル・ベルナル鎌倉」。年2回の室内楽演奏会には欠かさず参加し、楽しみながら合奏力の向上をめざしています。3重奏から8重奏まで、様々な編成の曲を取り上げて練習しています。しかし、何と云っても、心は4重奏です。そして、それが今日のブラームスやラフマニノフの演奏に生きてくるはずです。ここ1~2年は、メンバーの異動が続いたのですが、いつかは関西や九州、新潟にいる仲間と共にホルン・アンサンプルの演奏会を開きたいと思っています。

鎌響の名簿には血液型が載っています。これを見ると、ホルンは7人の内、3人がB型です。とはいえ、新人達はA型で追ってきています。これからどうなっていくでしょう。そういえば楽器も国産が増えたなあ。

(坂本記)



Trumpet

オーケストラのトランペット奏者は普通2~3人がステージに上がる。その人数でフォルテで演奏しているオーケストラ相手に、旋律を際立たせなければならないことも多い。目立って派手な楽器といえるが、逃げられないところで演奏している楽器ともいえる。別名「いつも崖っぷちのトランペット」「一発屋のトランペット」とか…金管楽器は特に自分で音を作る割合が大きい楽器で、唇の加減で半音以上の音程がついてしまう。楽器の7割が体の中にあるというのが実感。つねに健康に気を配らなければならないという、なんとも体育会的な楽器である。いまのトランペットパートは、一言で「モノ好きなおじさん集団」。でも、最近若くて可愛い娘が一人入ったけど休んでいる。誰がいじめたの…(本当は、学業が忙しいといっている) 其他のおじさん達は、会社員、タクシー運転手、市役所のおじさん、土建屋などと音が派手なわりには以外と地味な集団である。

(高橋記)

Trombone・Tuba

トロンボーン・チューバパートを紹介します。まず最年長の藤本功さん、音の高さを物理学的に研究している頭の良いバス・トロ吹きです。次は有賀功さん、どんな人とはじめて出会っても、昔から知っているように話しかける才能の持ち主です、特に女性にはね。次は、藤田元康さん。鎌響の音楽部というよりも、厚生部に所属しているといってもいい好青年です。夏の巡回音楽会では、一人でショートパンツをはいてきて、まわりをびっくりさせました。次は藤沼卓さん、最近入りましたが、またまたこのパートにイニシャルFをふやしました。次は、この文を書いている府川創作、最近娘にトロンボーンの方がぬかれそうでうれしかったりくやしかったりの親バカです。最後はチューバの煤孫さえ子さん。女だてらのチューバがめっぽうまい。ひまになるとすぐになてしまう、ごうけつのお嬢さんです。そうそう、すすまごと読みます。

(府川記)



Percussion



打楽器のメンバーは、現在4人（内2名は休団中）なので、打楽器の出番の多い曲の時には、1人で2～3個の楽器をかけ持ちして演奏しなければならない時があるので大変です。でも我々タイコヤは最も原始的な楽器を担当しているためかどうかは知りませんが、体力的には自信があるメンバーが多いようです。また一人一人が違う楽器を演奏するので精神的にもタフかもしれません。

ここで打楽器のことを少しお話ししましょう。打楽器を分けるのに通常の分け方とは別に材質で分けるとどうなるか、考えてみて下さい。皮、金（かね）、木、石といった分け方ができます。それぞれ音色が似た楽器が集められるのがおわかり頂けるでしょう。

今日の演奏会では、皮と金の楽器を使って演奏しますが、体力的にも精神的にもきつい曲なので、奏者が最後にどう変わっているかを見ながらお楽しみ頂ければと思います。（今城記）



85. 6. 23 幼稚園協会依頼演奏会

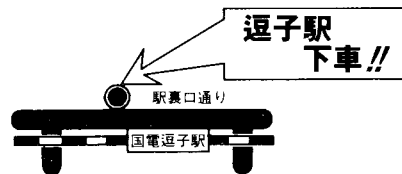
横須賀線沿線唯一の…… フラワーデザイン材料

美しい花に調和をもたらす花材の総合商社
全国花材流通協会会員・JFTD賛助会員・NFD賛助会員

サン産業株式会社

〒150 東京都渋谷区恵比寿南2-4-4 〒249 神奈川県逗子市山の根1-3-6

TEL (0468)71-2025



1963年 (昭和38年)

- 第1回結成記念演奏会 (6/15) 指揮 東 清蔵・中田豊太郎/エグモント, ハイドンP協 (河野 一) 未完成
- 第2回定期演奏会 (11/17) 指揮 東 清蔵・中田豊太郎/皇帝円舞曲, ハンガリア狂詩曲2, モーツァルトHr協 (R. A. ブロッド), 田園

1964年

- 第3回定期演奏会 (5/23) 指揮 東 清蔵・前田幸市郎/ウィンザーの陽気な女房たち, 運命, ベートーベンP協 (朽木みどり), バレエ組曲「ファウスト」, 威風堂々
- 第4回定期演奏会 (11/21) 指揮 前田幸市郎/イフゲニア, グリーグP協 (笠原みどり), ベートーベン交7

1965年

- 第5回定期演奏会 (5/23) 指揮 前田幸市郎/セビリアの理髪師, モーツァルトFl協 (益山 弘), ベートーベン交1, フィンランドディア
- 第6回定期演奏会 (11/28) 指揮 前田幸市郎/オペロン, モーツァルトVn協 (森 康子), 英雄

1966年

- 第7回定期演奏会 (5/28) 指揮 前田幸市郎/白鳥の湖, モーツァルトP協 (山岡優子), 新世界
- 第8回定期演奏会 (11/27) 指揮 前田幸市郎/くるみ割り人形, アンダンテ・カンタービレ, 悲愴

1967年

- 第9回定期演奏会 (5/27) 指揮 前田幸市郎/マイスタージンガー, ショパンP協 (安田寿子), イタリア
- 第10回定期演奏会 (10/29) 指揮 前田幸市郎/東 清蔵/フィガロの結婚, フランク交響曲, メンデルスゾーン Vn協 (蓬田清重), 威風堂々

1968年

- 第11回定期演奏会 (6/25) 指揮 前田幸市郎/コロオラン, ベートーベンP協3 (高橋アキ), ブラームス交1
- 第12回定期演奏会 (10/27) 指揮 前田幸市郎/リスト前奏曲, ハイドンOb協 (大野 守), 金管合奏スリーピース他, ベートーベン交2

1969年

- 第13回定期演奏会 (6/21) 指揮 前田幸市郎・高橋誠也/シンフォニア, ブルッフVn協 (林 信子), ドヴォルザーク交8
- 第14回定期演奏会 (10/26) 指揮 高橋誠也/フィンガルの洞窟, ラプソディー・イン・ブルー (矢野義明), サウンド・オブ・ミュージック, モルダウ

1970年

- 第15回定期演奏会 (5/24) 指揮 高橋誠也/管楽器のためのシンフォニー (ストラビンスキー), エグモント, ブラームス交2
- 第16回定期演奏会 (10/25) 指揮 前田幸市郎・高橋誠也/パーセル組曲1番, 運命, 皇帝 (生野晴子)

1971年

- 第17回定期演奏会 (5/8) 指揮 前田幸市郎・吉水 洋/オペロン序曲, 戴冠式 (鈴木実子), 未完成
- 第18回定期演奏会 (11/27) 指揮 前田幸市郎・吉水 洋/後宮よりの逃走, 新世界, ベートーベンVn協 (松原千子)

1972年

- 第19回定期演奏会 (5/28) 指揮 吉水 洋/モーツァルトP協 (鈴木実子), ベートーベン交1, ガイーン組曲よりバラの乙女の踊り, 子守歌, 剣の舞
- 第20回定期演奏会 (11/25) 指揮 前田幸市郎・吉水 洋/イフゲニア, フィガロの結婚, モーツァルト交40, ドボ



住宅・ビル設計

音楽室・アトリエ・キッチン増改築

BHR DESIGN

一級建築士 畠山鉄太郎(コントラス)

〒247 鎌倉市大船2-19-36
渡辺ビル205

TEL.0467-47-4731

FAX.0467-44-3663

ークVc協(前田幸康)

1973年

□ 第21回定期演奏会(5/27) 指揮 吉水 洋/FIとHpのための協奏曲(内田秀夫, 野畑潤子), ロザムンデ, ベートーベン交8

□ 第22回定期演奏会(市制施行34周年記念フェスティバル)(11/3) 指揮 前田幸市郎・吉水 洋/グリーグP協(富沢民子), フィンガルの洞窟, ブラームス交4

1974年

□ 第23回定期演奏会(5/25) 指揮 吉水 洋/魔笛, テレマンOb協(吉水 洋), 未完成

□ 第24回定期演奏会(市制施行35周年記念フェスティバル)(11/3) 指揮 前田幸市郎・吉水 洋/マイスタージンガー, シューベルト交7, ショパンP協(久保田裕子)

1975年

□ 第25回定期演奏会(東先生追悼)(5/25) 指揮 吉水 洋/モーツァルトP協(間瀬すみ), エロイカ, 魔弾の射手

□ 第26回定期演奏会(市制施行36周年記念フェスティバル)(11/3) 指揮 前田幸市郎・吉水 洋/アルルの女第2組曲, ラフマニノフP協(野口公子), ベートーベン交1

1976年

□ 第27回定期演奏会(4/24) 指揮 前田幸市郎/ファウスト舞踊組曲, ブラームス交1, モーツァルトVn協(三戸泰雄)

□ 第28回定期演奏会(11/3) 指揮 吉水 洋/エグモント, 皇帝(重松正大), ベートーベン交7

1977年

□ 第29回定期演奏会(5/22) 指揮 吉水 洋/オペロン, モーツァルトP協(小牧洋子), スコットランド

第30回定期演奏会(10/30) 指揮 前田幸市郎・吉水 洋

フィガロの結婚, 田園, グリーグP協(間瀬すみ)

1978年

□ 第31回定期演奏会(5/21) 指揮 吉水 洋/謝肉祭, メンデルスゾーンVn協(梅津南美子), ブラームス交2

□ 第32回定期演奏会(10/29) 指揮 前田幸市郎・吉水 洋/泥棒かささぎ, ベートーベンP協3番(竹内玲子), ドボルザーク交8

1979年

□ 第33回定期演奏会(5/27) 指揮 前田幸市郎/アルルの女第1組曲, 第2組曲より, 皇帝円舞曲, 運命

□ 第34回定期演奏会(10/28) 指揮 前田幸市郎・古谷 誠一/モーツァルト交40, マイスタージンガー, ドボルザークVc協(菊田雅治)

1980年

□ 第35回定期演奏会(5/17) 指揮 前田幸市郎・藤原義章/フィンガルの洞窟, ラフマニノフP協(神野 明), チャイコフスキー交5

□ 第36回定期演奏会(10/26) 指揮 前田幸市郎・古谷誠一/運命の力, ショパンP協1番(大坪由子), ブラームス交4

1981年

□ ニューイヤークンサート(1/24) 指揮 古谷誠一, 賛助出演 鎌倉フラウエンコール・長谷コーラス・深沢市民合唱教室/こうもり序曲他5曲, 映画音楽からスターウォーズ他4曲, 日本の歌から落葉松他3曲

□ 第37回定期演奏会(5/16) 指揮 古谷誠一/大学祝典序曲, 新世界, モーツァルト交35ハフナー

□ 第38回定期演奏会(10/25) 指揮 前田幸市郎・古谷誠一/未完成, ベートーベンVn協(海老原はるみ), リスト前奏曲

通勤・通学服もおしゃれ着もすべて1日でOK!!

ドライクリーニングのクイックサービス

午前中にお出し下されば夕方返に仕上ります

ファッション クリーニング
スピード・クワイック

●AM9:00~PM7:00(日曜定休)
逗子本店(71)3293
逗子駅前店(73)8114
逗子ハイランド店(72)1131

鎌倉由比ヶ浜店(22)1501
鎌倉大町店(25)3722
鎌倉深沢店(32)2751
藤沢店(22)5595

茅ヶ崎十間坂店(85)9209
茅ヶ崎共恵店(85)7310
茅ヶ崎矢畑店(86)6607
茅ヶ崎茶屋町店(87)2168

1982年

□ ニューイヤーコンサート (1/17) 指揮 古谷誠一／芸術家の生涯他4曲, 映画音楽からエデンの東他6曲, 合唱曲雪のふる街他3曲

□ 第39回定期演奏会 (5/15) 指揮 前田幸市郎・古谷誠一／魔笛, アルジェリア組曲, エロイカ

□ 第40回定期演奏会 (11/27, 28) 指揮 前田幸市郎・古谷誠一／ベートーベン交9合唱付, 古谷誠一前奏曲「鎌倉の思い出」

1983年

□ 第41回定期演奏会 (5/14) 指揮 前田幸市郎／レオノーレ3, ブルッフVn協(梅津南美子), シューマン春

□ 第42回定期演奏会 (10/23) 指揮 前田幸市郎・古谷誠一／ローマの謝肉祭, ハイドン驚愕, ブラームス交1

1984年

□ ニューイヤーコンサート (1/22) 指揮 古谷誠一／フィガロの結婚, くるみ割り人形, フィンランディア, 芸術家の生涯, ウィーンの森の物語他

□ 第43回定期演奏会 (5/27) 指揮 前田幸市郎・古谷誠一／ウィンザーの陽気な女房達, モーツァルトP協27(奈良英子), チャイコフスキー交4

□ 第44回定期演奏会 (10/21) 指揮 前田幸市郎・古谷誠一／リエッツィ, グリーグP協(渡辺健二), ベートーベン交7

1985年

□ ニューイヤーコンサート (1/20) 指揮 古谷誠一／ルスタンとリュドミラ, 威風堂々, 「いーとーまきまき」コンチェルト, 運命他

□ 第45回定期演奏会 (5/26) 指揮 前田幸市郎・古谷誠一／シャブリエ「スペイン」, ドビュッシー小組曲, フランク交響曲

□ 第46回定期演奏会 (11/10) 指揮 前田幸市郎／ドンジョ

バンニ, バッハ2つのVn協(前澤 均・前澤悦子), ブラームス交2

1986年

□ ニューイヤーコンサート (1/19) 指揮 古谷誠一／カルメンから(中山洋子・篠崎義昭・三縄みどり), 天体の音楽, ネバーエンディングストーリー, ホルスト木星他

□ 第47回定期演奏会 (5/25) 指揮 古谷誠一／後宮からの逃走, リストP協1(牧野 績), ブルックナー交4

□ 第48回定期演奏会 (11/15) 指揮 前田幸市郎／ジュピター, ドボルザークVc協(倉田澄子), モルダウ

1987年

□ ニューイヤーコンサート (1/25) 指揮 古谷誠一／こもり, ピーターとおおかみ, 舞踏への勧誘, チゴイネル, エデン(マリンバ角田桂子)他

□ 第49回定期演奏会 (5/31) 指揮 古谷誠一／田園, サン・サーンスVn協(景山誠治), タンホイザー

□ 創立25周年記念第50回定期演奏会 (10/25) 指揮 前田幸市郎／フィガロの結婚, FlとHpのための協(湯川和雄・杉山敦子), 幻想

1988年

□ ニューイヤーコンサート (1/24) 指揮 古谷誠一／フィンランディア, ペールギュント組曲より, ラプソディーインブルー(野口公子), ブルータンゴ, ジャズピチカート, トランペット吹きの休日他

□ 第51回定期演奏会 (5/14) 指揮 古谷誠一／モーツァルトP協24(山田美知子), マラー巨人

□ 第52回定期演奏会 (11/6) 指揮 宮松重紀／シチリア島の夕べの祈り, モーツァルト交39, チャイコフスキー悲愴

1989年

□ ニューイヤーコンサート (1/29) 指揮 古谷誠一／眠りの森の美女から, 魔弾の射手, 魔法使いの弟子他

□ 第53回定期演奏会 (5/20) 指揮 古谷誠一／ブラームス

イベント
雑貨店

株サイガード

横浜市中区万代町3-5-15
(文化体育館裏通り)

《祭事用品専門処》

- ぬいぐるみリース ●アドバルーン
- 名入風船 ●のほり ●提灯 ●はんでん
- 三角くじ ●記章 ●えんにち用品

045-681-1121(代表)
FAX 662-7779

われたら
19ンダ!



交 3, シューマン P 協 (神西敦子), マイスタージンガー

□ 第54回定期演奏会 (10/29) 指揮 古谷誠一/前田幸市郎
先生を追悼して ベートーベン交 3 英雄から, ローマの謝肉祭,
モーツァルト協奏交響曲 K.364, シベリウス交 2

1990年

□ ニューイヤーコンサート (1/21) 指揮 古谷誠一/ヘン
ゼルとグレーテル, グランドキャニオン, ローマの松より

□ 第55回定期演奏会 (5/13) 指揮 古谷誠一/ドボルザーク
謝肉祭, ハイドン交ロンドン, ドボルザーク交 8

□ 第56回定期演奏会 (10/28) 指揮 古谷誠一/レオノーレ
3, ベートーベン Vn 3 協 (松原勝也), シューマン交 3

1991年

□ ニューイヤーコンサート (1/27) 指揮 宮松重紀/ショ
スタコーピッチ祝典序曲, 水上の音楽, ハーリヤーノシュ (ツ
インバロン深水潤子)

□ 第57回定期演奏会 (5/19) 指揮 古谷誠一/劇場支配人,
モーツァルト交35ハフナー, シェエラザード (Vn 松野美智子,
Hp 野畑潤子)

□ 第58回定期演奏会 (10/20) 指揮 古谷誠一/魔笛, チャ
イコフスキー P 協 1, ブラーム交 4

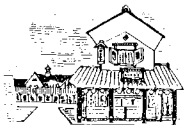
1992年

□ ニューイヤーコンサート (1/25) 指揮 古谷誠一/チャ
イコフスキーロメオとジュリエット, メリーウイドウより (Sop
小泉恵子, Ten 持木弘)

□ 第59回定期演奏会 (5/10) 指揮 古谷誠一/セミラーミ
デ, チャイコフスキー Vn 協 (天満敦子), シベリウス交 1

□ 創立30周年記念第60回定期演奏会 指揮 古谷誠一/フィ
ンガルの洞窟, ラフマニノフ P 協 2 (津田真理), ブラームス
交 1

鎌倉の駅を通過して
道すがら
若宮大路の左角
『酒まん処』ここに有り
表紙・飾 次矢 飯頭



松風堂本座

鎌倉市小町 1-5-24
☎ 0467-22-0666



珈琲・洋菓子

177

小町通り (22) 2689
(22) 8963

あなたも鎌倉で
音楽しませんか

鎌響団員募集中!

練習は毎週1回御成小学校で
経験者歓迎

※連絡場所 田中宅

0467-25-3512

◆ 団員出演者名簿

常任指揮者 古谷 誠一
 団 長 伊沢 龍作
 コンサート・マスター 松野 美智子

指揮者 宮松 重紀
 運営委員長 松野 義明

技術顧問 吉水 洋・藤原 義章
 インспекター 西谷 裕之

Violin	有石 光 健 ○井 橋 子 宇上 康 綾 遠多 藤 綾 小沢 沢 勝 川西 沢 礼 喜多 笙 昇 桐本 圭 俊 五斎 藤 い 菅鈴 井 直 曾鈴 木 晶 曾鈴 根 民 高橋 けい 田島 由 邦 谷村 陽 八 富永 井 順 中村 靖 西馬 村 潔 広府 木 孝 藤前 川 紀 ○松 中 成 八野 美 安木 育 矢田 亜 山野 裕 内崎 さ 川海 俊 清西 成 水正		田長 中 順 子 ○西島 島 庸 子 ○日比 谷 直 志 水宮 上 平 一郎 八幡 下 重 美 ○飯田 幡 和 彦 伊上 沢 達 男 佐鈴 藤 理 加 鈴鈴 木 晋 一 田谷 中 川 幸 一 谷西 井 田 良 宏 中藤 野 尾 和 由 松和 田 義 紀 ○梅 沢 有 定 江口 内 利 達 大中 村 安 鉄 ○吉 山 廣 野 澄 夫 青 菊 野 本 秀 曾 竹 美 高 根 弘 島 橋 由 ○吉 中 龍 青 野 晃			山賀 久 匡 林隆 さ 貴 田本 さ ゆ み 澤本 賢 二 田山 千 枝 山子 真 知 場江 光 延 谷江 裕 正 木口 裕 祐 本永 直 美 尾岡 正 正 崎田 和 浩 田田 尚 克 ○高橋 善 太郎 武津 金 勝 本有 賀 多 豊 ○府藤 川 創 藤藤 田 元 藤藤 沼 本 煤孫 城 信 ○今根 岸 礼 溝 溝 口 稔 ○パートリーダー
		Cello		Clarinet		
		Bass		Bassoon		
		Flute		Horn		
Viola		Oboe		Trumpet		
				Trombone		
				Tuba		
				Percussion		

1993年ニューイヤークンサート

第14回室内楽演奏会

●チャイコフスキー 「くるみ割り人形」他

○インスタントコンダクター

来年の曲は「？」

○指揮 古谷 誠一

○とき 93年1月30日(土)

○ところ 鎌倉市中央公民館分館

○とき 93年2月11日(日)

○ところ 鎌倉市中央公民館

●御好評いただいている鎌響メンバーによる室内楽演奏会です。弦楽四重奏あり、ブラスアンサンブルありの多彩なプログラムをお気軽にお楽しみ下さい。

鎌倉壺番屋
鎌倉小町通りにて候 ☎0467-25-6638
AM9～PM7

フランス料理

小町園
横須賀線下馬ガード脇
TEL.(22)2370

JURI et MODE

鎌倉市御成町11-2
(やのヤビルB1)
TEL.(0467)22-4105
茅ヶ崎市中海岸1-1-58
(大船ビル1F)
TEL.(0467)87-1145

カフェ & レストラン

Saloon The Lime
SINCE 1980 KAMAKURA

鎌倉駅西口ヤノヤビル2F
TEL.25-1421

(新)遠近両用
累進多焦点レンズ
各社取扱い

- コンタクト用
(ソフト・ハードケース)取扱
(クリーナー・保存液)

optical・shop
KAMAKURA
森川眼鏡店
☎(22)2964

市役所通りのパン屋さん
リトルマーメイド
TEL.25-5025

健保・労災取扱

**大船
整骨院**

佐藤元一
大船駅前 協和銀行隣
サトウビル
☎0467(45)6700(代)

あなたの音楽の要求をプロの店

ミュージックショップY
が解決します。

レコード・楽器・楽譜・オーディオ
のご相談は

“音楽の出前持ち”

ミュージックショップY
TEL.31-2588 鎌倉市七里が浜東4-14-1

クラリネット

レッスンしてみませんか?
(フリータイム制)

横浜市戸塚区戸塚町3755-1-1-307
川下方 TEL 045-865-4885
片山クラリネット教室

耳鼻咽喉科、アレルギー科、神経耳科(めまい診療)

芋川耳鼻科クリニック

鎌倉・小町壺番館ビル3階
電話 (24)7273

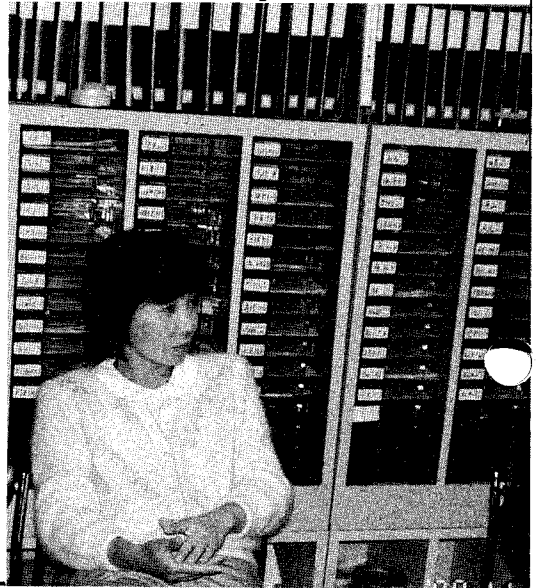
輸入楽譜のエキスパート

KAMAKURA
MUSICA

速い、安い、親切、
全国にすぐ郵送します。
在庫表ご請求下さい。

TEL.0467-24-8766
FAX.0467-22-9755

営業時間 10:00~17:00
定休日 水曜全日/土曜午後



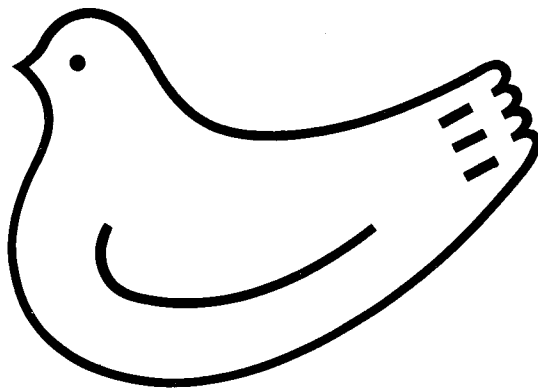
カマクラ ムジカ

〒248 鎌倉市浄明寺5-11-29 担当 門間サナエ

佳き町

鎌倉

鳩サブレー。



鳩サブレー
豊島屋

鎌倉・八幡宮前通り
電話 0467-24-8766
FAX 0467-22-9755